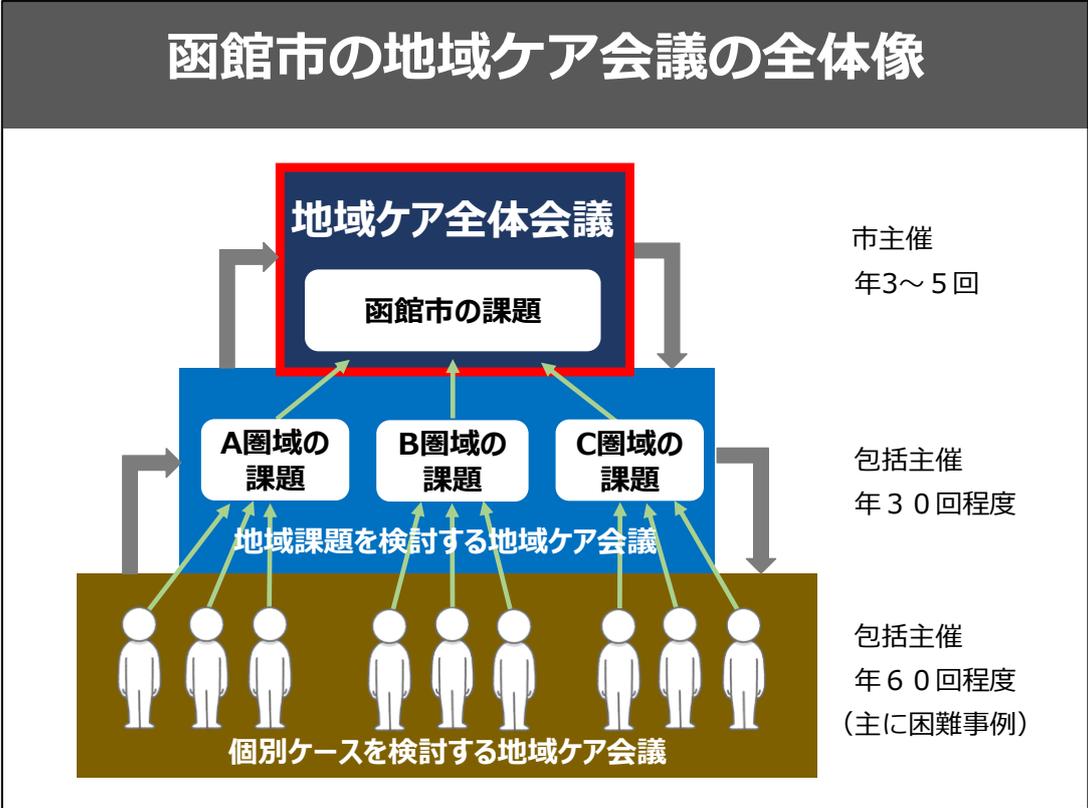


令和元年度（2019年度） 函館市地域ケア全体会議について



函館市地域ケア全体会議の目的

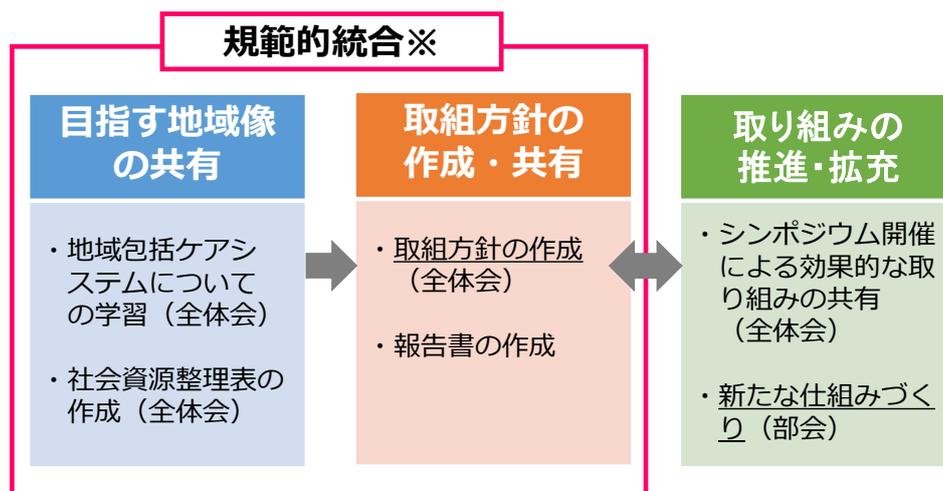
認知症になっても住み慣れた地域でその人らしい生活を営むために、住民、関係機関、行政の総合力による地域づくりを行う。

<背景>

平成26～27年度に実施した地域ケア会議を、市と地域包括支援センターで分析・検討

- ・認知症・独居のケースは、地域での生活を継続するうえで、様々な課題を抱えている（個別）
- ・高齢者個人や支援者自身の課題だけでなく、地域との関係に関する課題を抱えているケースが多い（個別）
- ・全市的に、地域住民の理解に関する課題や地域の互助力の低下が地域課題としてあげられた（地域）

函館市地域ケア全体会議の取組内容



※規範的統合：考え方の共有。合意形成。

取組方針（H28全体会で作成）

認知症の人の理解者・協力者を
増やす

認知症の人の火災リスクを減らす

(1) 必要な知識の普及

地域の支え合いのパンフレット配布

認知症サポーター養成講座

在宅福祉委員会との連携強化

(2) 相談しやすい仕組みづくり

介護支援専門員と地域がつながる仕組みづくり

地域見守り活動協定事業者との意見交換

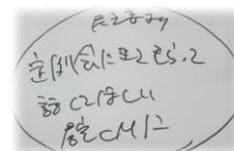
(3) 火災リスクに気づく人を増やす

火災予防のリーフレット配布

火の管理に関わる事業所へ認知症サポーター
養成講座を案内

相談しやすい仕組みづくり（部会の取組）

- ・ ケアマネジャー部会を発足し、地域の支援者と
ケアマネジャーがつながる仕組みづくりについて検討
- ・ 民生委員やケアマネジャーの意識調査、勉強会などを実施
- ・ 「民生委員とケアマネジャーの連携ガイド」を発行・配布



お互い知り合って
共にがんばりましょう!!

福祉のまちづくりフォーラムへの発展

令和元年度函館市地域ケア全体会議を

『福祉のまちづくりフォーラム』として開催

- ・ 認知症になっても自分らしく暮らせるまちづくりから、誰もが笑顔で暮らせる地域づくり（地域共生社会の実現）への発展
- ・ 参加者の拡大（182名→209名）

・ 地域関係者
・ 高齢者関係機関
・ 医療関係機関
・ 地域包括支援センター
・ 市関係部局（高齢者部門）



・ 障がい関係機関
・ 児童関係機関
・ 生活困窮関係機関
・ 市関係部局
（障がい者・町会・教育部門）

福祉のまちづくりフォーラムへの発展

- 講演
「地域共生社会」のための我が事・丸ごとの地域づくり
- 報告
・ 地域共生社会の実現に向けた函館市の取り組み
・ 函館市地域ケア全体会議の取り組み
- シンポジウム
・ ずっと住み慣れたまちで生きる
～地域と専門職の連携が創り出す安心～
・ 地域の集い場づくり～旗揚げ隊の取り組み～
- 意見交換
福祉のまちづくりのために自分ができること

福祉のまちづくりフォーラムへの発展



参加者ひとりひとりが主役のフォーラムです！！

意見交換から

「福祉のまち」のキーワードは『つながり』

・世代と並ぶ関係性を
作り出すことが大切

相互の「機関」の理解を
深める。こ
れを見れば相談できると良い。

私が考える福祉のまち おや
「福祉・高齢など」区分する
言葉が使われない町」
実現のため
まずは、「こ」近所交流。
顔見知り

お互いからお互いへ
関心を持つまち

異変があればすぐに気付ける
気付いてもらえる人が
ふえる

々な機関と

遠い親せきよりも
近くの他人

意見交換から

フォーラムが新たな『つながりの場』に・・・

色んな方と
つながれる機会
をありがとうございます！！

福祉のまちづくりの一事は
今回の出会いから！！
人々とのつながりこそが
まちづくりの基本だと
思いました

課題も多々ありましたが
新たなつながりや発見
可能性も見える気がしました
楽しかったです！！
それぞれの立場の助け合い
※死お思いがわかりました。